

日本の国立大学附属病院における国際遠隔医療教育活動の調査

1. 臨床研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特性を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。その一つとして、九州大学病院国際医療部では、オンライン会議システムを用いた遠隔教育の国際的普及を推進しており、日本の国立大学病院長で構成される国立大学病院長会議の中にある国際化協議会において、「情報通信技術を活用した海外医療施設との連携強化」を担当し、医師・技術担当者を対象とした調査研究を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2025年3月31日までです。

2. 研究の目的や意義について

オンライン会議システムを用いた遠隔教育は、コロナ禍を通じて多くの人に認知されることになりました。本邦を含めて医療教育においても広く活用される一方で、オンラインによる国際的な医療教育活動の報告は少なく、その活動を推進するために必要な人的、技術的支援についても十分な検討がなされていません(*Ho SH, et al. Endosc Int Open. 2017, Erridge S et al. Surg Innov. 2019*)。九州大学病院は、2021年に国立大学病院間での情報共有を目的として、各大学における国際的な遠隔医療教育活動についてアンケート調査しました。本研究ではこのデータを解析し、コロナ禍以降のオンラインを活用した国際遠隔医療教育のニーズ、現況、障壁を明らかにします。この研究結果が、国立大学の国際的な遠隔医療教育活動を活性化させる一助となることが期待されます。

3. 研究の対象者について

2021年11月に国立大学病院長会議の国際化協議会の中で九州大学病院が実施した、国際的な遠隔医療教育の実態調査に回答した、各国立大学の国際化担当者・技術担当者86名が対象となります。

4. 研究の方法について

上述したアンケート調査から、個人を特定できる情報である氏名と大学名を削除したうえで、以下のデータを取得します。

[取得する情報]

- ① 職種、遠隔医療関連業務のエフォート、遠隔医療教育の実施に必要なスキル
- ② 所属施設における国際間の遠隔医療教育活動（コロナ禍以降の活動の有無、教育プログラムの形態、対応業務、医療分野、接続先の国）
- ③ 所属施設における国内の遠隔医療教育活動（コロナ禍以降の活動の有無、教育プログラムの形態、対応業務、医療分野）
- ④ 所属施設における国際間の遠隔医療教育活動のニーズ（ニーズの有無、推進するうえでの障害の有無・内容、支援部署の有無）
- ⑤ 所属施設における国内の遠隔医療教育活動のニーズ（ニーズの有無、推進するうえでの障害の有無・内容、支援部署の有無）
- ⑥ 所属施設における遠隔医療教育用機材（テレビ会議システムが整備されている会議室の有無、

H. 323 テレビ会議システムの有無、Zoom のライセンス契約の有無、Webex のライセンス契約の有無、Microsoft Teams のライセンス契約の有無)

アンケートの結果から、国立大学病院ごとに遠隔医療教育活動の実施経験の有無、新たなプログラムのニーズ、プログラム実施における課題、情報通信機器の整備状況、技術担当者の遠隔医療教育の技術支援の経験がどの程度であるか明らかにします。また、企業からの支援の有無と、国際または国内の遠隔医療教育活動との関係についてはフィッシャーの正確検定を用いた分析（危険率5%）を行います。

5. 研究への参加を希望されない場合（事前に同意を得ていない資料を用いる研究の場合）

この研究への参加を希望されない方は、九州大学病院 国際医療部 講師 工藤孔梨子 にご連絡ください。

その場合は、収集された情報は廃棄され、取得した情報もこの研究で用いられることはありません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

6. 個人情報の取扱いについて

アンケート結果をこの研究に使用するうえで、研究対象者を個人として特定できる情報は削除します。この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学病院 国際医療部 教授 中島直樹の責任の下、厳重な管理を行います。ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

7. 試料や情報の保管等について

この研究において得られた研究対象者の情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学病院 国際医療部 教授 中島直樹の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

8. この研究の費用について

この研究に関する必要な費用は、文部科学省科学研究費補助金 23H01005 でまかなわれます。

9. 利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのため資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）し

ているのではないかという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

ただし本研究に関する経費には文部科学省科学研究費補助金 23H01005 のみを用いるため、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

(窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター 電話：092-642-5082)

10. 研究に関する情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

なお、この研究に関する情報や研究成果等は、以下のホームページで公開します。

九州大学病院国際医療部・アジア遠隔医療開発センター：<https://www.temdec.med.kyushu-u.ac.jp/>

11. 特許権等について

この研究の結果として、特許権等が生じる可能性があります。その権利は九州大学及び共同研究機関等に属し、あなたには属しません。また、その特許権等を元にして経済的利益が生じる可能性があります。これについてもあなたに権利はありません。

12. 研究を中止する場合について

研究責任者の判断により、研究を中止しなければならない何らかの事情が発生した場合には、この研究を中止する場合があります。なお、研究中止後もこの研究に関するお問い合わせ等には誠意をもって対応します。

13. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター
研究責任者	九州大学病院 国際医療部 准教授 森山智彦
研究分担者	九州大学病院 国際医療部 講師 工藤孔梨子 九州大学病院 国際医療部 特任講師 上田真太郎 九州大学病院 国際医療部 特任助教 久田由紀子

14. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 担当者：九州大学病院 国際医療部 講師 工藤孔梨子
(相談窓口) 連絡先：〔TEL〕092-642-5014

作成日：2023年9月1日 第1版
[ホームページ公開用資料]

[FAX] 092-642-5983

メールアドレス：kudo.kuriko.091@m.kyushu-u.ac.jp